旭山動物園だより

（No.１６９）　　（２０１１年１月１０日）

ペンギンの散歩は11：00～と14：30～です
3月は11：00～の1回になります

ASAHIYAMA Zoo

発　行　所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎　36-1104

エゾヒグマ とんこ 産室へ

赤ちゃん うまれるかな？

とんこ（♀・11才）

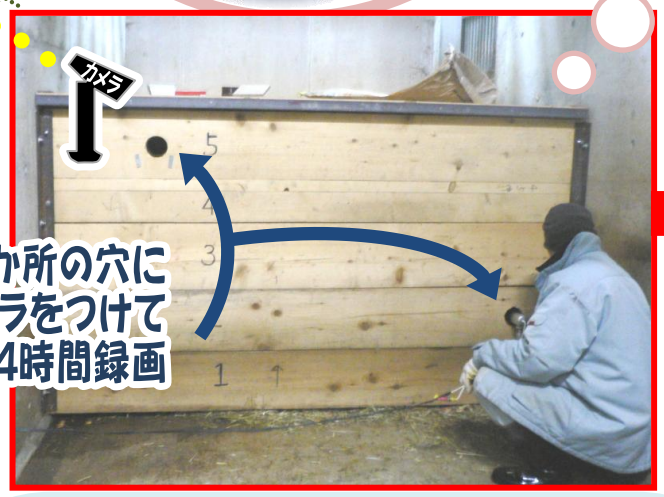
くまぞう（♂・28歳）との同居は８年目。去年の春にも交尾が確認されています。

去年の秋にはとても食欲旺盛になり、ふっくらとしてきていました。

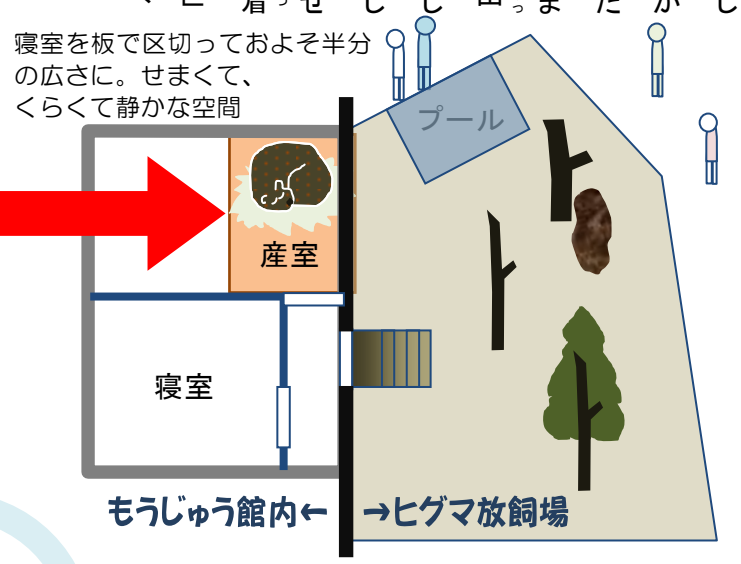
赤ちゃんの期待が高まります。

12月に入り、ヒグマのとんこ（♀）に変化がありました。部屋のすみでじっとすることが多くなったり、そうかと思えば、ソワソワと歩き回っていたり。数日の間に食欲も落ちていきました。ヒグマの担当者はとんこの出産が近いと考え、準備をはじめました。２つある寝室のうち１つを改造します。寝室の一部を板で仕切って、せまく、天井を低くし、とんこが落ち着いて赤ちゃんをうめるような「産室」を作りました。中は乾草をしきつめ、ふかふかになっています。

産室の中のようすを
モニターで観察するんだよ



この2か所の穴に
カメラをつけて
24時間録画



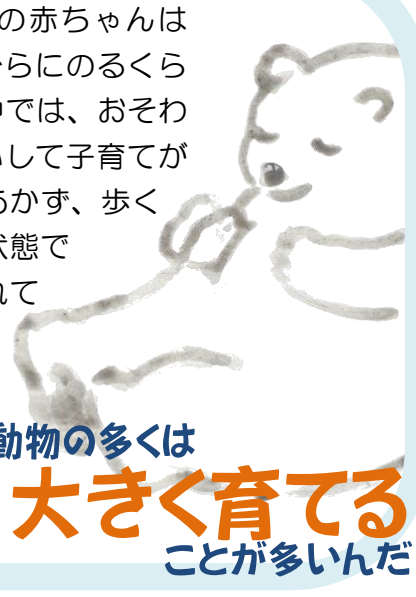
産室を作ってから3日後、とんこは自分で産室に入っていきました。

この後、気になるのは、期待の赤ちゃん。元気にうまれてくるでしょうか？でも、うまれてこないかもしれません。と、いうのは、人間は、赤ちゃんがお腹に入っている時、お母さんのお腹は大きくふくらみますが、ヒグマの赤ちゃんは、とてもとても小さく、母グマのおなかがふくらむことはありません。体つきを見て、赤ちゃんがいるか確認することはできないのです。

この冬、ほっきょくぐま館でも同じように、メスのルルとサツキは産室に入っていました。冬はクマたちの赤ちゃんがうまれる期待の季節。赤ちゃん誕生の明るいニュースが届く日を待っていてくださいね。

（サツキは出産しないと判断したため、７日から展示を始めています。）

ヒグマやホッキョクグマの赤ちゃんはとても小さく、両手の手のひらにのるくらいです。彼らは、自然界の中では、おそわれる心配が少ないので、安心して子育てができます。ですから、目もあかず、歩くこともできないほど未熟な状態でうまれてきても、親に守られてすくすくと大きく育つことができるのです。



おそわれるキケンが少ない動物の多くは
小さくうんで 大きく育てる
ことが多いんだ

旭川市博物館×旭山動物園

野生動物と生きるということ

今、博物館では動物園と協力して企画展を行っています。昔、アイヌの人びとにとって、エゾシカなどの野生動物は食べものなどの大切な恵みでした。動物たちとの深い関わりは、近代に入ると一変します。現在、そして未来にむけて考えることとは？

過去

エゾシカは恵み

アイヌの人たちのくらしを、絵やパネルで紹介しているよ

アイヌの人たちは野生生物のことを「○○が、姿を変えてあらわれていた」って考えていたよ。○○ってなんだろう？

現在

エゾシカを てっぽうでねらっている 人がいるよ
どうしてだろう？ エゾシカは 悪者なの？

エゾシカは やっかいもの?!

むこうでは、エゾシカと車が交通事故。こっちでは、電気さくにエゾシカが かかってケガをしているよ

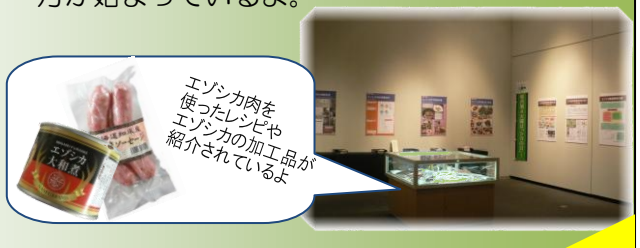
おや？ 畑のカボチャを あらしたのは だれだ?!

エゾシカのまわりには パチパチ電気がながれる さくがはりめぐらされているよ! どうして？なにがおきているんだろう？

未来へ

エゾシカは…

未来へむけて、エゾシカとの新しい関わり方が始まっているよ。



これから、エゾシカたちとどんなつきあいをしたらいいと思う？

このつづきは博物館で！
2/13まで開催中

博物館×動物園　第 61 回企画展「野生動物と生きるということ」～エゾシカの過去・現在・未来～　2月13日まで博物館にて開催中!